

* **環境クイズ** * エネルギー

問題1

石油、石炭などの化石燃料を燃やしつづけた結果、大気に増えたものは何でしょうか？

- ①ダイオキシン ②酸素 ③二酸化炭素

問題2

地球は大気に包まれています。大気中には、二酸化炭素がどのくらい含まれているのでしょうか？

- ①約10% ②約0.3% ③約0.03%

問題3

最近、氷河が溶け始めています。その原因は何でしょうか？

- ①フロンガスがオゾン層を破壊したから
②二酸化炭素やメタンガス、フロンガスなどが大気中に増えたから
③窒素酸化物や硫黄酸化物で大気汚染が進んでいるから

問題4

『京都議定書』という言葉がよく聞かれるようになりました。どんな目的のものでしょうか？

- ①省エネルギーの取り決め
②森林保護の為の取り決め
③温室効果ガスの出す量を減らす取り決め

問題5

最近、世界各地で森林が枯れたり、歴史のある建物が溶けるなど、酸性雨の被害が目立ってきています。日本はどうでしょうか？

- ①全国的に酸性雨が降っている ②一部で酸性雨が降っている ③まだ降っていない

問題6

都会の温度が郊外よりも異常に高くなる現象を何といいますか？

- ①エルニーニョ現象 ②ヒートアイランド現象 ③フェーン現象

問題7

電気は、発電所から送電線で運ばれます。この時、かなりの量の電流のエネルギーが減っています。その量は発電時の何%ぐらいでしょうか？

- ①1% ②3% ③5%

問題8

天然ガスは、比較的クリーンな燃料といわれています。天然ガスを燃焼させたときに発生する二酸化炭素の割合は、石炭に比べるとどれぐらいでしょうか？

- ①二分の一 ②三分の一 ③同じぐらい

問題9

水力発電は水が落ちる力を利用して発電しています。本当に環境に優しい発電方式なのでしょうか？

- ①優しい ②優しくない

問題10

原子力エネルギーは他の電力より安いといわれていますが、本当でしょうか？

- ①うそ ②ほんと ③必ずしも本当ではない

問題11

原子力発電では燃料リサイクルができるといわれていますが、何と呼ばれているのでしょうか？

- ①プルトニウム ②プルサーマル ③サーマルリサイクル

問題12

電気事業連合会の広告に『原子力発電って、運転しても二酸化炭素を出さないんですね』とありました。本当でしょうか？

- ①本当 ②間違い ③必ずしも正しくない

*** 自動車の燃料の性状に関する許容限度及び自動車の燃料に含まれる物質の許容限度の改正について ***

【主な改正内容】

ガソリン及び軽油中の硫黄分の許容限度を現行の0.005質量%(50ppm)から0.001質量%(10ppm)とする。

【施行予定】

軽油:平成19年1月1日

ガソリン:平成20年1月1日

*** メモでもよいから記録を残しましょう ***

ある会社でのアンケートを集計したもので、社内で交わされる言葉遣いで言って欲しくない言葉のワースト10を紹介します。

第一位: 『そんなこと聞いていない(聞いていなかった)』=『そんなこと言ったことはないよ』

→ 非常によく聞かれる言葉であるが、どちらに責任があるのかはっきりしない

第二位: 『そんなこと(いまさら言われなくても)分かっている』

→ なにも分かっているくせに

第三位: 『今までにやった例(前例)がないからだめだ』

→ どうしたらできるかを考えようとしな

第四位: 『それぐらいのこと自分で考えてやれよ(いちいち聞きにくるな)』

→ 結果に対して、くどくどと小言を言われる

第五位: 『今、忙しいから後で聞くよ』

→ 結果として何も聞いてくれない

第六位: 『(忙しいので)理由はよいから結論だけ言ってくれ』

→ 最初から聞く気がない

第七位: 『それはうち(私)の仕事と違うな』

→ 責任転嫁型、やってやろうという気がない

第八位: 『上司の言葉だから仕方がないだろ』

→ この紋所が目に入らぬか

第九位: 『それは君の知識不足だよ(そんなこと知らなかったのか)』=『そりゃ、常識(当たり前)だよ』

→ 指示をしないで責任逃れをしている

第十位: 『そんなこと、できるはずはないだろう』

→ やりもしないうちに否定される

ということですが、思い当たることはありませんか？

第一位の言葉、このようなことがないように、ISO14001及びISO9001ではメモでもよいから記録を残せと要求しています。この要求事項はお互いのコミュニケーションを確実に実施することが目的なのです。

*** 森を守れ 世界に広がる3R運動 ***

東京から西に80キロ。神奈川県や山北町にある丹沢湖の西側に東京ドーム157個分に相当する森林が広がる。製紙業界最大手の王子製紙が所有するこの森林は『三保山林』と呼ばれ、全体の6割をスギ、ヒノキの人工林が占める。

王子が保有する森林は三保山林だけではない。全国に700ヶ所、実に19万^{ヘクタール}にのぼる森林を保有し、その面積は大阪府に匹敵する。今夏には同業者への敵対的買収で話題をさらった王子だが、老舗企業らしく、民間最大の“地主”というもう一つの顔を持っている。

王子が森林保全に力を注ぐようになったのは、戦後になってからだ。原料を確保するため、戦前に過伐採を続けた反省と、原料の安定調達を目指して植林に取り組んだ。今では製紙原料の6割は古紙で、残りも輸入材が大半を占めるが、森林保全への姿勢は変わらない。森林は山崩れや洪水を防止する役割に加え、地球温暖化の原因になる二酸化炭素(CO2)吸収などの効果もあり、年間5億円を投じて手入れを続けている。

しかし、世界に目を転じれば、森林の消失は確実に進んでいる。なかでも熱帯雨林の減少は深刻で、1990年から2000年の間に毎年、農地利用や燃料利用の為に本州の3分の2にあたる1420万^{ヘクタール}もの森林が失われたという。

王子など国内の製紙メーカーは現在、海外でも植林を拡大し、伐採と植林を均衡させることで緑の維持に努めているが、豊かな生活を求めて世界規模で進む開発には到底追いつけない。

豊かな生活の代償でもある廃棄物の総排出量も今後、更に増加する見通しだ。岡山大学大学院の田中勝教授は、2000年に127億トンだった世界の廃棄物総排出量は経済成長を続けるアジアを中心に増大し、2025年には190億トン、2050年には270億トンにまで膨らむと予測している。

温暖化をはじめとする地球環境の急激な変化は、資源を大量消費し、環境に大きな負荷を与える社会の転換を迫っている。95カ国から1400人近い専門家が調査に参加し、国連が昨年まとめた生態系評価報告書によると、今の傾向が続いた場合には『今後50年のうちに回復不能な状態に陥る危険性がある』と強い調子で警告した。

こうした危機に対応するために提唱されているのが『循環型社会』の実現だ。日本では環境省がリデュース(廃棄物の排出抑制)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)の頭文字をとった『3R』を呼びかけ、その実現に向けて国民運動を展開しようと計画している。

この活動を広く知ってもらうため、小池百合子前環境大臣は(現・首相補佐官)が用いたのが、ペットボトルをリサイクルした布地で作った風呂敷だった。日本古来の風呂敷は繰り返し使え、レジ袋を減らす効果も期待できる。小池前環境大臣は『もったいないふるしき』と名付けた風呂敷を手にPRに走った。

この『もったいない』という日本語をキーワードにした環境保全運動は、ケニアのノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんの提唱によって世界に広がりつつある。だが、省エネなど最先端の環境技術を持つ日本が果たすべき真の役割は、決して言葉だけではないはずだ。

限られた資源をどう有効に使うか。廃棄物を減らし、廃棄物から資源やエネルギーを取り出す循環型社会の構築は、資源小国・日本の大きな課題である。

*** GM、ハイブリッド車投入 環境・燃費でトヨタに対抗 ***

11月29日、米自動車最大手ゼネラル・モーターズ(GM)は家庭用電源で充電が可能なプラグインハイブリッド車を投入する方針を明らかにした。二酸化炭素など温室効果ガス排出の削減を叫ぶ声が米国でも高まる中、GM車の『燃費が悪い』という消費者のイメージを払拭し、燃料効率の環境対応の両面で高い評価を確立しているトヨタ自動車に対抗する。

『環境負荷の軽減に役立つ車の開発に本腰を入れる』。GMのワゴナー会長はこの日、ロサンゼルスで開催中のオートショーで、プラグインハイブリッド車の導入を発表した。従来型のハイブリッド車と違い、家庭用電源で充電が可能なバッテリーを搭載、電気走行する距離が延長できる。二酸化炭素の排出量が比較的少ない夜間電力で充電すれば、温室効果ガス削減にも役立つとして、近年注目されている。

GMは、このプラグインハイブリッドを環境対応の切り札に、小型SUV(スポーツ多目的車)のサターン・ヴェューに導入して量産する計画。

*** 環境クイズ答え ***

- | | | | | | | | |
|-----|-----|------|-----|------|-----|------|-----|
| 問題1 | 正解③ | 問題2 | 正解③ | 問題3 | 正解② | 問題4 | 正解③ |
| 問題5 | 正解① | 問題6 | 正解② | 問題7 | 正解③ | 問題8 | 正解① |
| 問題9 | 正解② | 問題10 | 正解③ | 問題11 | 正解② | 問題12 | 正解③ |

以上